

気にかけて合う関係性を築く

美濃加茂市下米田単位民児協



美濃加茂市の 下米田地域をめぐる

美濃加茂市は、岐阜県の中南部に位置し、「飛騨木曾川国定公園」内にある景勝地であり、令和6年度には市制70周年を迎える歴史ある街です。古くは、中山道の3大難所の「太田の渡し」のある「中山道太田宿」として栄え、現在も歴史的景観が保たれています。

その中でも下米田地区は、美濃加茂市を流れる飛騨川の東・木曾川の北に位置し、さくらの森公園、小山観音、諏訪神社の祭礼・米田白山「美濃の手



▲下米田から眺める木曾川

軽な低山遊歩道コース」、津田佐右吉博士生誕の地など、人と文化と歴史と自然の調和がとれた心地よい時間が流れる地域です。

「見守りマップ」 「見守りパートナー」

下米田地域の調和がまちづくり活動を活発にしており、私たち民生委員・児童委員(8名)及び主任児童委員(2名)も下米田地域のまちづくり協議会や支部社協活動に積極的に参加しています。立場を超えて、一人の下米田の住人として、お互いを気にかけて、誰もが安心して暮らすことのできる地域の実現に貢献しようと思っています。

このように役割に促されることなく、住民と同じ目線で同じ生活者としての感性を大切に、私たちに何が求められているかを考えるきっかけにしたいと思っています。

具体的には、地域見守り会議にて、各地区の民生委員・児童委員、自治会長、福祉委員により『見守りマップ』を作成し、独居高齢者・高齢者夫婦世帯及び障がい者世帯等の情報を定期的に共有しています。情報の可視化によりご近所さんへの見守り活動の協力

を依頼し『見守りパートナー』の活動を推進しています。災害発生時に限らず、日頃からの挨拶や交流などを通して、つながりを大切にした見守り活動を通じて、どんな時でも「助けて」と言える「お互いさま」の実感できる地域を目指しています。

まちづくり協議会との活動

まちづくり協議会の活動に(健康医療福祉部会、交通防犯環境防災部会、子育て教育部会、歴史文化部会、若者雇用部会、産業観光部会)民生委員・児童委員及び主任児童委員としても積極的に参加し「下米田をより良い地域に」「下米田で安心して暮らすために」という下米田愛を軸にして集り、多岐に渡り特色のある活動に参加しています。

例えば、健康やフレイル予防につながるウォーキング活動、地域の景観や治安の維持を目的としたクリーン大作戦、子育て世代の母親がハンドメイド作品や農作物の販売をしながら、お互いの情報交換や悩みを共有出来るようにバザー企画、地域の夏祭りでの竹灯籠づくり、米田白山の登山道へのレスキューポイントの設置により、市内外の登山者の方にもおもてなしを届ける活動も行っています。

このような住民との垣根のない関係性を築きつつ、避難行動要支援者への家庭訪問や独居高齢者への声かけ、まちづくり活動へのお誘いなど、住民と住民をつなぐ役割を担っています。

「生きる」を共にする 下米田のつながり

これらの活動は、住民の方々が気軽に参加し、その場で「出会い・語り合い交流する」という機会の創出につながります。住民同士が、お互いに「顔見知り」「顔なじみ」の関係を超え、「人となり」がわかる「こと」により、子どもも大人もすべての人が安心して暮らすことができるのだと思います。

今後このような「生きるを共にする下米田のひとりの住民」として、また民生委員・児童委員及び主任児童委員としても、行政や社会福祉協議会・下米田地域のまちづくり協議会・支部社協活動と連携し、地域の皆さんに寄り添った見守り活動を通じ、お互いさまの優しさ溢れる地域共生社会の実現を目指していきたいと思っています。



▲地域見守り会議の様子